

聖隷がんセンターレター



■がん治療に関わる診療科

健診センター

消化器内科

外科

呼吸器外科

乳腺外科

泌尿器科

耳鼻咽喉科

緩和医療科

放射線治療科

病理科

ご紹介について

地域医療連携室にてお話を承ります。

総勢6名体制で各医療機関の皆様とのパイプ役として「顔の見える連携」を目指し、前方支援業務を中心に対応しております。

ご紹介以外でも何かございましたら下記連絡先にお気軽にお問合せ下さい。

●地域医療連携室

【直通TEL】043-486-5511

【直通FAX】043-486-1807

(日曜、祝祭日のぞく 平日 8:30～17:00 土 8:30～12:00)

■交通

【最寄駅から】

- ・京成本線白井駅 ちばグリーンバス(乗車時間 約10分)
- ・京成本線佐倉駅 ちばグリーンバス(乗車時間 約15分)
- ・JR佐倉駅 タクシー(乗車時間 約15分)

【お車をご利用の場合】

- ・東関東自動車道「四街道I.C」より約20分
- ・東関東自動車道「佐倉I.C」より約20分



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
聖隷佐倉市民病院

〒285-8765 千葉県佐倉市江原台2-36-2
TEL : 043-486-5511 (地域医療連携室)
043-486-1155 (患者さま用予約センター)
FAX : 043-486-1807 (地域医療連携室)

巻頭言

がんセンターレターVol.4 発行に際して

1月は新年が始まり気持ちが改まります。何か新しいことでもと思っているうち1月行って2月逃げて3月去ってしまい、もう4月新年度。これからは今年の本番というところでしょうか。当院にも新卒の若者が加わりますが、医療職に今後従事する彼らの夢や希望も患者様、ご家族の思いとともにあるわけです。今回泌尿器科からは自科の紹介として若い力が加わり3人体制になるとのくだりがありました。外科からは肛門温存手術を受ける患者様の高まる精神的満足度と低下するかもしれない生活の質という問題が提起されています。

若い医療者としての夢や希望も悩ましい現実と向き合うこととなりますが、きっと私たちにも何かをもたらしてくれると期待しています。

がん医療支援センター長
眞崎 義隆

第4号 担当医紹介



消化器外科部長

大島 祐二

主な専門領域：消化器外科、再生医療

- ・日本消化器外科学会専門医
- ・日本消化器内視鏡学会専門医
- ・日本外科学会専門医
- ・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・消化器がん外科治療認定医
- ・臨床研修 指導医
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修修了



泌尿器科副部長

稲原 昌彦

・日本泌尿器科学会 専門医・指導医

- ・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修修了

肛門温存手術 (ISR) について

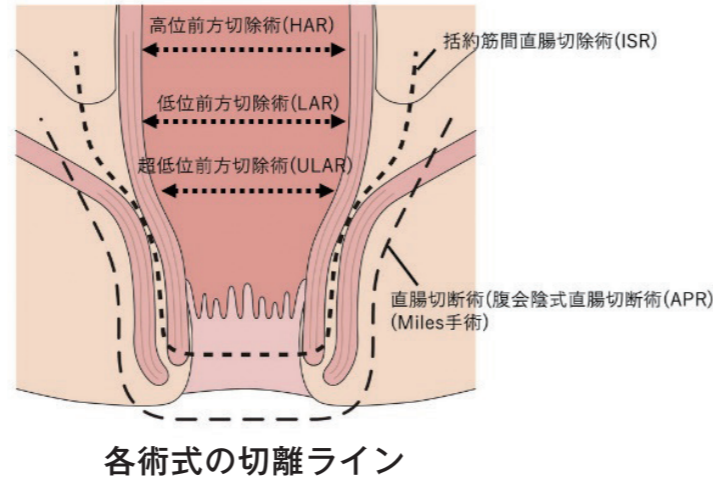
ISR (Intersphincteric resection) 括約筋間直腸切除術

これまでは肛門に近い直腸癌の患者では永久人工肛門となることが多くありました。

この術式は右図のように内外肛門括約筋の間を剥離して、癌の根治性を保ちつつ肛門を温存しようという術式で2000年頃から日本でも行われるようになりました。

従来のAPR (マイルズ手術) では肛門を含めて切除するために永久人工肛門となります。これに対してISRでは肛門括約筋を残して肛門管と吻合するため、肛門の温存ができます。

適応としては、外肛門括約筋への浸潤がないこと、腫瘍から切除ラインまで1ないし2cmの距離が確保できることなどが挙げられます。



各術式の切離ライン

術後の後遺症について

ISRは優れた術式ですが、内肛門括約筋を一部もしくは全切除するために、排便障害がほとんどの患者さんに起こります。便失禁の重症度を表すものにWexnerスコアというものがああります。

術後徐々に回復してきますが、2年を経過しても重度の便失禁で悩んでいる方が一定数いらっしゃる事が報告されています。ほかに吻合部の狭窄などの理由で、手術時に作った一時的な人工肛門を閉鎖できない方もいます。

Wexnerスコア (下記項目の合計点で便失禁の重症度を評価)

	全くなし	1-2ヶ月に1度	1年に何度か	1週間に何度か	毎日
固形便	0	1	2	3	4
軟便・水様便	0	1	2	3	4
ガス	0	1	2	3	4
パッドの使用	0	1	2	3	4
生活の制限	0	1	2	3	4

ISR術後のWexnerスコア

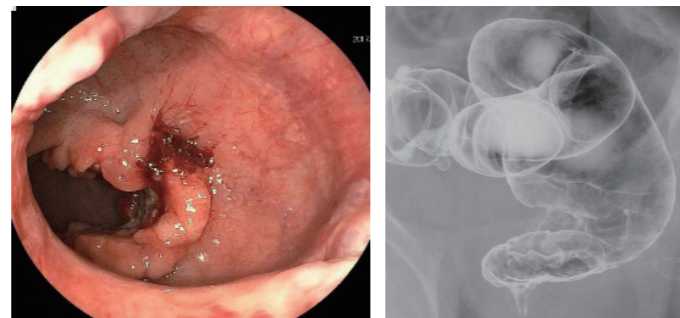
	術後3ヶ月	術後6ヶ月	術後1年	術後2年
スコア 0 - 5	14%	18%	29%	30%
スコア 6 - 10	28%	38%	29%	40%
スコア 11 - 15	34%	27%	27%	23%
スコア 16 - 20	24%	18%	15%	7%

がんセンター東病院データ

症例 80才 男性

便潜血を主訴に来院し直腸癌と診断。肛門管近傍に2型進行癌を認めた。腹腔鏡下ISRによる肛門温存手術施行。

5年無再発で経過し完治。最終Wexnerスコア 0-3点



まとめ

肛門温存手術は自分の肛門を残せるという精神的な満足度は高くなりますが、それと引き換えに生活の質が落ちることもあります。

永久的な人工肛門では、多くの患者さんが生活の制限なく過ごせますが、様々な合併症の可能性があり、自分の肛門を失うという喪失感やボディイメージの変化に悩まれる方もいます。

当院ではストマ・排泄に関わる認定看護師も常時対応しております。患者さん一人一人としっかりと話を重ねて、その方の年齢や社会的状況、受け入れの忍容性などを考慮して術式を選択することが大事であると考えます。



外科 大島 祐二

泌尿器科からのご挨拶

いつも大変お世話になっております。聖隷佐倉市民病院泌尿器科の稲原です。

当科は2018年4月から前部長の五十嵐先生を筆頭に、稲原との常勤二人体制で2021年3月まで泌尿器科診療を担って参りました。泌尿器科領域はすべて任せて頂けるよう、泌尿器科癌・尿路結石・前立腺肥大症を代表とした排尿障害といった全領域をカバーして参りました。お陰様で2018年7月からは腹腔鏡手術を、2020年9月からはレーザーによる結石破碎手術を開始し、曲がりなりにも地域医療の一端を担ってきました。

2021年4月からは若い力も加わって3人体制になり、2023年4月からは五十嵐部長の退任に伴い、また2人体制になりましたが、来年度2024年4月からは若い力が更に加わり3人体制に戻ります。

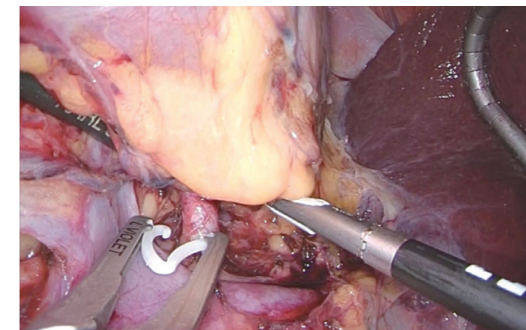
ロボット支援手術の設備は未だ無いためそれが必要な手術は迅速に大学病院やがんセンターに紹介致しますが、それ以外の手術は全て当科で対応致します。科ごとの垣根を越えた迅速な医療を提供できるのも当科の強みであり、特に当院には放射線治療機器が充実しているため、前立腺癌の根治治療としての放射線療法や癌緩和での緊急の照射適応(骨転移による癌性疼痛・病的骨折、前立腺癌や膀胱癌からの出血)にも対応できます。是非とも症例をご紹介頂ければ幸いです。勿論、手術に結びつくような症例でなくても構いません。まずは御相談頂ければ泌尿器科専門診療の責任を果たしていきたい所存です。よろしくお願いたします。

最後に当科で行っている主な手術の様子を3例ほどご紹介いたします。

1. 腹腔鏡手術

右腎癌にて腎摘中

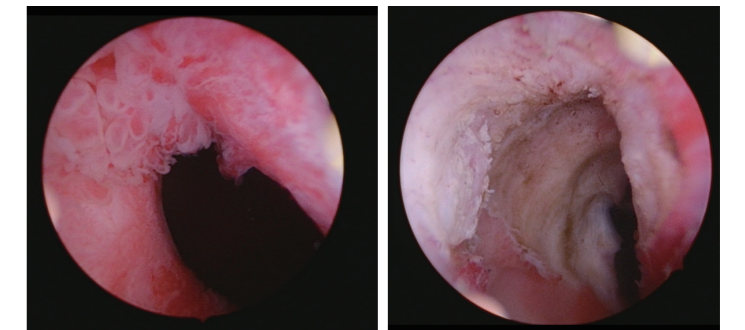
腎動脈をクリップで遮断するところ



2. 経尿道的膀胱腫瘍切除術

前立腺部尿道にできた膀胱癌

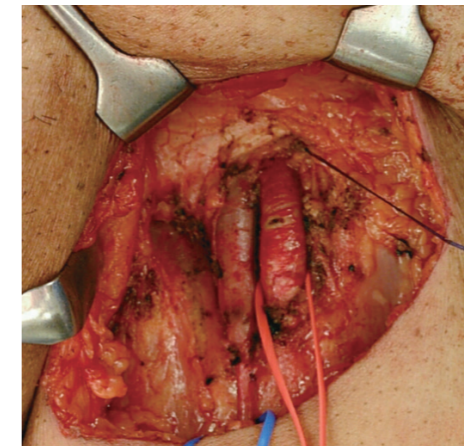
カンナで削ぐように薄く広く削る



3. 開放手術

陰茎癌の鼠径リンパ節郭清中

大腿動静脈を剥き出しにして周囲の脂肪織を一塊に摘出



泌尿器科 稲原 昌彦